

教育・・・お金をかけるべきところはここ！

学童保育 33号	多くの課題を指摘したうち、教室の備品や空調整備などいくつかの改善は見られましたが、各学童保育室に責任者がいない点や避難訓練の実施など未だ改善されていません。(継続課題)
戦争や平和 についての学習 41号	独自のアンケート調査を実施し、歴史の時間にどの程度学んでいるかを調べました。実態は、77%の子どもたちが、昭和以降は「サーッと流す感じ」「かなり飛ばし飛ばし」と回答。市は指導計画の作成や指導方法の改善について各学校を訪問し指導する方針を示しました。さらに、今しか出来ない事として、戦争体験談を聞く機会をつくれなかと提案しましたが、前向きな回答はありませんでした。

その他・・・川越市には問題山積。提案重視で取り組みました！

川越市の公式 ホームページ 37号43号46号	検索機能が機能せず、各ページ同士がリンクもされず使いづらい点や、企業広告欄に空きが目立っている点などについて、3度に渡り様々な指摘をしました。現在は大幅に改善され、Google検索が付き、各ページ同士がほぼリンクされ、情報量も増えました。HPの改善は福祉の観点からも不可欠と考えています。
自治会への依頼事項 37号	任意団体でありながら市と市民のパイプ役を担ってきた自治会に、市は、回覧版や募金集め、各種委員の推薦、防災訓練、ごみゼロ、集団回収など、多くの事を依頼しています。しかし、残念ながら加入者の減少が見られる今、自治会員に提供すべき情報と全市民に提供すべき情報の線引きは曖昧で、自治会に何を依頼するべきかの検討も不十分であると指摘し、見直しを求めました。市は情報の適正な周知に努めるとの答弁。(継続課題)
川越祭りごみ対策 34号43号	祭りを開催する以上、他市、他県から来る観光客のことも考え、きちんとごみ箱を設け、そこへ誘導する方法を採るべきと考え、ボランティアとの共同によるごみ対策と合わせ提案し、2度に渡り「ごみはお持ち帰り下さい」一辺倒だった方針の転換を求めました。昨年の川越祭りから実現し、とても綺麗になりました。
平和市長会議への参加 41号	これは広島・長崎市主催で世界134カ国約3000都市(当時)が加入し、各地で平和推進活動を展開する会議ですが、市は平和都市宣言をしていながら、周辺市が加入していないことを理由に態度を保留してきました。共感できるのであれば参加すべきと提案し、後日参加が決まりました。

政務調査費については、内訳までこの紙面の35号41号45号で報告しました。

議会改革・・・4年前との主な変化

市議会のケーブルテレビ放送開始。	議員定数が40人→36人に。	議会だよりの充実。
交通費等として議会出席時に支給されていた費用弁償2900円を実費相当額に。		

47号

3月議会

23年度予算案可決

- ・予算規模は、子ども手当増額等の影響もあり、前年度比5.8%増の996億円。
- ・市債残高は、19年度からの増加傾向に歯止め。それでも900億円弱。

注目新規事業

- ・24年度から市県民税・固定資産税・都市計画税・国民健康保険税がコンビニで納税可能に！
- ・市役所内に「児童虐待防止SOSセンター」を設置
- ・自治基本条例の制定を検討
- ・地球温暖化対策等として、LED道路照明及びLED防犯灯の設置
- ・やむを得ず平日の夜間に家庭で児童を見られない時、施設で預かる「トリイト事業」を実施

注目議案・・・川越市開発許可等の基準に関する条例の一部改正(略)

H18年に現条例になった後、市街化調整区域(市街化を抑制すべき区域)の開発が容易になり、農地等が開発により減少し、街が拡散されました。今回の条例改正の目的は、この開発許可の基準を見直し、農地を保全し、「街をコンパクトに」という、川越市のこれからのまちづくりの方向性を示すものであると考えます。効率的な行政サービスが求められる中、乱開発を防ぎ、計画的なまちづくりを推進するために必要な条例改正だと考えています。